

【別紙2】

白川町地域資源価値向上・活用促進事業支援業務公募型プロポーザル

評 価 基 準

1 基本的な考え方

本評価基準は、価格のみでなく、事業目的の理解、企画内容、実現性、地域協働、発信・アーカイブ、社会実装、実施体制、実績及び価格等を総合的に評価し、本業務の契約候補者を公平かつ客観的に選定するために定める。

評価は100点満点とし、提案内容を重視する。契約候補者となるためには、各選定委員の平均点が60点以上であることを要する。参加者が1者の場合も同様とする。

2 評価項目及び配点

評価項目	評価の概要	配点
業務理解・基本方針	事業目的、白川町の地域特性、地域資源の価値向上に対する理解	10
全体企画・プロデュース	コンセプト、一体性、独自性、事業全体の構成	15
地域資源の調査・価値向上	資源の把握、価値の可視化、磨き上げ、新たな活用	10
情報発信・交流・関係形成	対象設定、発信方法、交流、認知・関係形成への効果	10
地域との協働・地域への還元	町内参画、既存事業者との共存、知見・ノウハウの蓄積	10
地域内活用・社会実装	活用、消費、流通、販売等への接続、実証、実装可能性	20
成果の記録・アーカイブ	成果の記録、保存、再利用性、行政・地域での活用	5
実施体制・業務遂行能力	責任者、専門性、役割分担、実績等	5
工程・事業管理	工程、調整、リスク管理、進捗・品質管理	5
効果検証・継続発展性	KPI、効果検証、次年度以降の継続・自走	5
価格	提案価格	5
合計		100

3 採点方法

価格以外の各評価項目は、評価の着眼点に基づき、次の5段階を基本として評価する。評価項目の配点に応じ、下表の割合を乗じて得点化する。

評価	判断の目安	得点割合
5	特に優れている。期待を大きく上回り、具体性・実現性が非常に高い。	100%
4	優れている。要求水準を上回る提案である。	80%
3	標準的である。要求水準を概ね満たしている。	60%
2	やや不十分である。具体性又は実現性に課題がある。	40%
1	不十分である。要求水準を満たすには大きな課題がある。	20%
0	記載がない、又は要求事項を満たしていない。	0%

【例】 配点10点の項目で「4」と評価した場合は8点、配点15点の項目で「3」と評価した場合は9点とする。

4 価格点の算定【5点】

- ・ 価格点は、主観評価を避けるため、次の算式により算定する。
価格点 = 5点 × (全提案者中の最低提案価格 ÷ 当該提案者の提案価格)
- ・ 算定結果は小数第2位を四捨五入し、小数第1位までとする。提案価格が提案上限額を超える場合は失格とする。

※参加者が1者の場合は、最低提案価格と当該提案価格が同額となるため価格点は5点となる。この場合でも、全体の最低基準点(60点以上)は適用する。

5 契約候補者の決定

- ・ 各選定委員の合計点の総和が最も高い提案者を契約候補者とする。
- ・ 各選定委員の平均点が60点未満の場合は、最高得点者であっても契約候補者として選定しない。
- ・ 最高得点者が複数の場合は、「2 全体企画・プロデュース」「3 成果領域ごとの企画内容・実現性」「4 地域との協働・地域への還元」「6 社会実装・継続性」の合計点が高い者を上位とする。
- ・ 前号でも同点の場合は価格点が高い者を上位とし、それでも同点の場合は選定委員会の合議により決定する。